

Fireflies dancing in the night sky of Fukuchi Town

夏の宵に舞う、玲瓏と

2023
7

幻想的な生命の光を放ちながら夜空を舞う上野地区のホテル。初夏の風物詩が新たな夏の訪れを告げる中、今年4月の選挙で再び町政を託された黒土町長の下、気持ちを新たにリスタートした福智町。今回の特集では、令和5年度の施政方針と予算をご紹介します。

物価高騰重点支援給付金

エネルギーや食料品などの物価高騰によって家計への負担が増大している現状を踏まえ、特に影響が大きい住民税非課税世帯等へ1世帯あたり3万円を支給します。

対象者 》 基準日 (R5.5.1) 時点で福智町に住所を有する令和5年度住民税非課税世帯

給付方法 1 》 手続きが不要な世帯の場合

● 令和5年度物価高騰給付金の対象世帯で、「令和4年度緊急支援給付金(5万円)」を世帯主の口座で福智町から受給し、世帯構成が前回と変わらない世帯

▶ 6月下旬に送付した「支給のお知らせ」に記載している口座へ、7月中旬ごろに振り込みます。

※ 振込を拒否するかたは、町窓口または町HPから「受給拒否届」を取得いただき、通知日から2週間以内に提出ください。

給付方法 2 》 「確認書」による手続きが必要な世帯の場合

① 「令和4年度緊急支援給付金(5万円)」を世帯主の口座以外で福智町から受給した世帯

② 「令和4年度緊急支援給付金(5万円)」を世帯主の口座で福智町から受給し、「令和5年度物価高騰給付金」の対象世帯だが、世帯構成に変動があった世帯

③ 「令和4年度緊急支援給付金(5万円)」の対象外世帯で、基準日時点で新たに給付対象となった世帯

④ 収入未申告者がいる令和5年度住民税非課税世帯

▶ 6月下旬に送付した「確認書」に記入し、必要書類を添えて同封の返信用封筒で期限までに返送。申請受付後、不備がなければ1ヶ月程度で指定口座へ振り込みます。

給付方法 3 》 「申請書」による手続きが必要な世帯の場合

① 世帯の中に令和5年1月2日から5月1日までに町外から転入した方がいる世帯

② 給付の条件を満たしているが、福智町から「支給のお知らせ」または「確認書」が届かない世帯

▶ ご自身で町窓口または町HPから「申請書」を取得いただき、必要事項を記入し、期限までに必要書類を添えて提出。申請受付後、不備がなければ1ヶ月程度で指定口座へ振り込みます。

問合せ 》 7月~8月の間 ▶ コールセンター ☎ 0120-736-001
9月以降 ▶ 高齢障がい福祉課(非課税世帯給付担当) ☎ 22-7762



Important Point 2023
重点施策

Point 1 **生活と暮らし**

- ① 国の交付金を活用した「敬老祝い商品券」、「シルバータクシーチケット」による物価高騰対策支援
- ② AIデマンドバス「ふく〜るバス」の本格運行
- ③ 窓口手続きのオンライン化やキャッシュレス化に向けた自治体DXの推進
- ④ 防災ハザードマップの刷新
- ⑤ 遊休地の有効活用の検討

Point 2 **福祉と医療**

- ① 令和5年4月から副食費を含む保育料の完全無償化を実施
- ② 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業の計画策定
- ③ 子ども家庭センターの設置準備
- ④ 第3期データヘルス計画の策定

Point 3 **地域活性化**

- ① プレミアム商品券の発行による地域活性化
- ② JALと連携した地域ブランド化の推進
- ③ ふるさと納税地場産品の創出・拡大の推進
- ④ 企業版ふるさと納税制度の推進

Point 4 **農業**

- ① 国・県補助金を活用した担い手育成の推進
- ② 土地基盤整備事業の推進
- ③ 機械導入補助事業の実施

Point 5 **教育**

- ① 不登校・いじめ問題解決の取り組みの推進
- ② ICTの効果的活用と情報教育環境の整備
- ③ ハワイとのオンライン交流や交流事業の実施
- ④ 多機能型スポーツ施設の整備

Point 6 **その他**

- ① 行財政改革の推進 ※公共施設の統廃合、民営化の推進
- ② 学校給食費の無償化に向けた財源確保の検討

福
 智町の公共施設において、未だ人口20万人規模の自治体に匹敵する公共施設を抱えており、その統廃合における険しい道のりは、道半ばの状況にあります。教育施設も、社会教育に関わりの深い委員の皆さまにより議論され、令和3年12月に提出された「福智町社会教育施設等統廃合検討委員会」の意見を踏まえ、老朽化が進む中央・金田・方城の3公民館と体育

町
 民の皆さまから寄せられるご期待に、お応えすべく、現在福智町が直面している先送りできない諸課題に正面から実直に向き合い、初心に返り、全力を傾注して町政を進めていきます。引き続き、町民の皆さまのあたたかいご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



引
 き続き町政を担っていただくこととなり、その使命と責任の重さを実感し、身の引き締まる思いです。1期目の4年間を振り返るとその大部分は、新型コロナウイルス感染症から町民の皆さまの生命や暮らしを守り抜くための取り組みや対策に尽力する日々でした。そのよ

時
 代は大きな転換期に差し掛かっており、人口減少や人口構造の変化と、デジタル化の波により、地域経済や日常生活は大きく変わりつつあります。いま、行政には、時代を見通すビジョンと強い覚悟をもって、新たな時代にふさわしいまちづくりの仕組みを創り上げていくことが求められています。地方自治体が、将来にわたり、住民ニーズに沿った公共サービスを提供し続けていくためには、時代の変化に合わせた変革を成し遂げていかなければなりません。福智町を次代へとつないでいくため、「確かな未来を創る」をテーマに、本紙4〜7ページで紹介する「自主財源の確保に向けたふるさと納税の強化」、「子育て支援の強化」、「公共施設の機能と量の最適化」、「課題解決に向けた行政DXの推進」の4つの視点を柱に据え、強い志をもって各種施策を展開し、山積する課題解決と、これからの時代に沿ったまちづくりに取り組んでまいります。



令和5年度 | 福智町

施政方針

福智町の舵取りを再び託された黒土町長が、就任後初の6月定例議会で示した令和5年度における施政方針と町政を力強く先導していく固い決意について、福智町に広がる夏の美しい景色と一緒にご紹介します。



↑職員に拍手で迎えられながら、6月16日に初登庁した黒土町長。「期待に応えるため、精一杯務めたい」と力強く宣言しました。

施政方針



1 公有財産

- ▼「公共施設等総合管理計画」に基づく統廃合と長寿命化の実施
- ▼遊休地等の売却や貸付による有効活用と自主財源の確保

2 防災・消防

- ▼防災ハザードマップの刷新
- ▼防災講演会の開催などによる災害予防啓発の推進
- ▼自主防災組織の設立・育成を推進

- ▼福智町消防団員確保の推進

3 定住促進

- ▼空家実態・所有者意向調査の結果を活用した空家対策の推進
- ▼定住促進助成事業奨励金・住宅改修助成金・性能向上改修助成金(旧耐震改修)事業の継続

4 地域創生

- ▼上野焼振興計画に基づいた販路拡大・後継者育成の実施

5 情報発信

- ▼行政の説明責任を果たせるような広報紙づくりと情報共有
- ▼町公式ホームページやSNSによる素早い情報発信
- ▼民間委託による広報紙の全戸配布を実施

6 農林業振興

- ▼農業の担い手育成のための機械導入補助事業を実施
- ▼有機農業の推進
- ▼集落営農組織の法人へ向けた調整を実施
- ▼農業施設の有効活用に向けた協議を実施

8 福祉・保健

- ▼地域の水質・環境保全のため合併浄化槽整備補助事業を継続
- ▼福岡県後期高齢者医療広域連合と連携した医療費適正化事業や保健事業の推進
- ▼「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」の計画を策定
- ▼包括支援センター、民生委員・児童委員や老人クラブ等、多様な関係ネットワークの形成により心豊かに生きる地域福祉を推進

7 環境衛生

- ▼「ごみ処理施設」の田川地区8市町村による共同処理の推進

9 子育て支援

- ▼保育料等の完全無償化の実施
- ▼妊産婦・子育て世帯・子どもへの包括的支援体制の構築

子育て支援の強化



町 民の皆さまが安心して子育てできる環境を整備するため、福智町では今年度から「保育料(おかずやお菓子などの副食費を含む)の完全無償化」を実施しています。さらに今年度の方針として「学校給食の無償化」のための財源確保と、無償化実現に向けた取り組みを着実に進めていく予定です。

自主財源の確保に向けた「ふるさと納税」の強化



→寄付者に「まごころ通信」をお届けし、福智町や特産品の魅力をPR。

福 智町の施策にかかる財源を確保するため、ふるさと納税寄付にかかる返礼品の生産者育成や特産品の開発、情報発信を強化していきます。また、町外に本社がある企業から寄付を募る「企業版ふるさと納税制度」の推進に向け、現在調整中。自主財源の確保だけでなく、民間企業との関係構築にも期待が寄せられます。



↑各課から集まった17人の職員で構成される「DX推進ワーキングチーム」を6月26日に発足。

質 の高い町民サービスの持続的な提供のため、全庁的に行政DX推進体制を構築し、町民の皆さまの利便性向上と行政運営の効率化に尽力します。また、教育力と生きる力の向上のため、グローバル教育関係機関とも連携して推進予定。DX推進事業は、国の事業に採択された「AIデマンド運行乗合バス公共交通導入事業」、「公共施設予約システム導入による町民利便性向上」、「デジタルを活用したグローバルリーダー育成事業」を軸に政策を展開していきます。

施政方針

- 14 教育方針**(教育委員会)
- ▼学校教育と生涯学習を充実し「教育によるまちづくり」を推進
 - ▼新型コロナウイルス対策としての制限を撤廃して各種事業を活性化
 - ▼いじめ・不登校問題の対策を推進
 - ▼ICT教育の推進
 - ▼9年間を通して教育する「小・中連携教育」の推進
 - ▼学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を活用した地域ぐるみで児童生徒を育てる体制づくりの推進
 - ▼スポーツ振興・地域活性化等の役割を担う事業の推進
 - ▼協定を締結するプロスポーツチームと連携したスポーツ振興
 - ▼グローバルな人材育成の推進

- 15 その他**
- ▼クラブハウスを備えた多機能型のスポーツ施設整備
 - ▼上野焼「釜ノ口窯跡」に関する資料収集・精査の実施
 - ▼金田人見地区(約5.5ha)と上野諏訪山地区(約4ha)の国土調査を実施
 - ▼マイナンバーカード普及とサービス拡大に向けた取り組みを強化
 - ▼町税、保育料、住宅使用料、住宅新築資金等の滞納者に対する法的措置と県との連携強化
 - ▼高齢者対象の「運転免許証自主返納支援事業」と「安全運転支援装置設置促進事業」の実施



↑令和3年12月に「町社会教育施設等統廃合検討委員会」から意見書を受け取った黒土町長。

急 激な人口減少などによる公共施設に求められる機能の変化及び施設の老朽化による公共施設の維持管理・更新費の負担が、それぞれ生じると考えられます。これらへの対応と行財政の持続性確保を図る観点から「町社会教育施設等統廃合検討委員会」の意見書と「町公共施設等総合管理計画」を踏まえ、公共施設の機能と量の最適化に取り組みます。

- 10 人権尊重**
- ▼啓発活動や研修による人権を尊重するまちづくりの推進
 - ▼「人権・同和問題に関する職員意識調査」の結果を基に、職員の意識と資質の向上を目指す職員研修を実施
 - ▼「ふれあい交流」など地域に根ざした自主活動支援と協働によるまちづくりの推進
- 11 建設事業**
- ▼国や県からの交付金を有効活用した道路・橋梁等の点検・調査・修繕補修等、適正な維持管理
 - ▼道路改良事業の継続と状況に応じた安心安全な生活環境整備

- 12 町営住宅**
- ▼農業用施設と林道の計画的な整備・維持管理の実施
 - ▼福智町営住宅長寿命化計画に沿った町営住宅の建替え・改善事業、維持補修を推進
 - ▼「湧淵団地住戸改善工事」、「平原団地住戸改善工事」の実施
 - ▼町営住宅維持管理の効率化に向けた管理制度の見直し
- 13 診療所**
- ▼赤字が続く診療所の経営改善
 - ▼町に根付いた地域医療の推進
 - ▼感染症対策の徹底と発熱外来の柔軟な対応の継続

新着情報

町政支える副町長に竹下靖氏を選任

福 智町議会6月定例会で、竹下靖氏(伊方)の副町長選任について同意され、6月21日付けで就任しました。竹下副町長は、田川農林高校を卒業後、民間企業(建設コンサルタント)を経て、旧方城町役場に入庁。合併後は住宅課長を務めたのち、建設課長として町の基盤整備を支えてきました。「現在、町が抱えている課題というのは非常に多様で、待ったなしにやらなければならない課題もたくさんありますが、29年の行政経験を生かし、議会・関係機関とも円滑な関係を築きながら町長をサポートし、生まれ育った町のために全力を尽くします」と力強く決意を語りました。



施政方針 予算

今年度の補正後予算の概要と福智町の財政状況をご紹介します。



依然として厳しい町財政

自主財源の根幹をなす「町税」は、16億円程度を見込んでいますが、エネルギー等物価高騰による景気後退で、さらに財政が厳しくなると思われる。歳入の約3割を占める交付税は、平成25年度の53億2千万円と比べ、3億4千万減の49億8千万円になると分析。「ふるさと寄附金」は、前年度に大幅な増額となった状況を踏まえ、前年度6月補正と比較し、10億円増の20億円と見込んでいます。ただし、この内3分の2に相当する約14億円については返礼品などの必要経費に充てるため、一般財源へ充てられる実際の金額は多くを見込めません。

統廃合を進め経費削減へ

歳出面では、平成29年度から財政健全化に向けて予算の縮減に努めていますが、令和5年度予算では、社会教育施設再整備事業に加え、緊急浚渫推進事業、町道整備事業、農村環境整備事業などの新規事業費の計上で、前年度に比べ7.6%増加しています。また、依然として基金と地方債の歳入に占める割合は28.6%と高い水準になっており、さらなる予算縮減が必要不可欠。今後は、合併以後先送りしてきた公共施設の統廃合や各種事業の見直しを進め、財政の健全化に向けて取り組みを強化していきます。

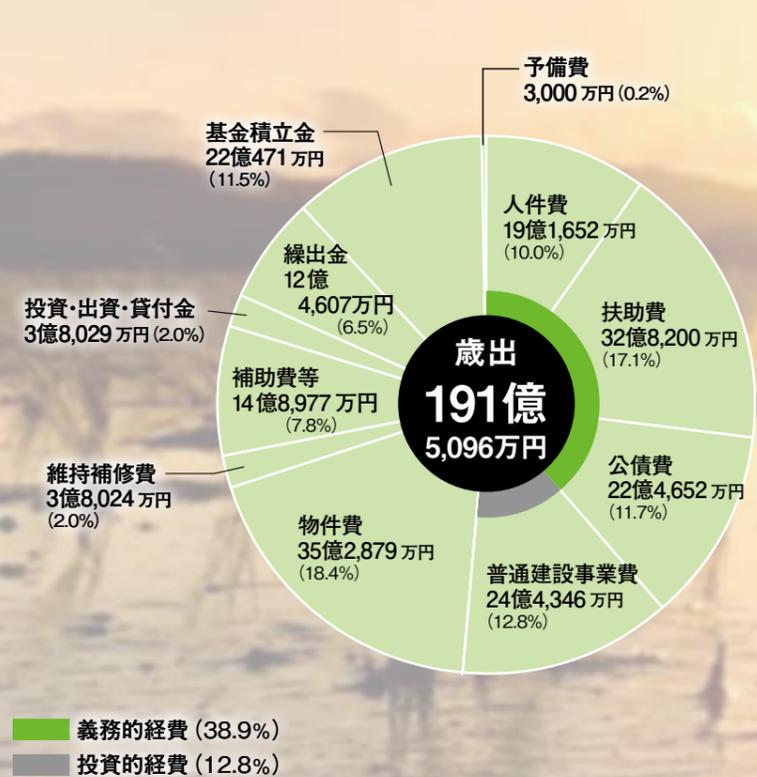
旧町時代の教訓生かして

福智町の一般会計予算は黒字を確保していますが、その実態は地方債の発行と基金の取り崩しによるもの。家計に例えると、借金であるローンを増やし、将来への蓄えである貯金を切り崩しているイメージです。この状態が続けば、今後数年で基金は底をつき、高確率で「財政再生団体」に転落する恐れがあります。福智町の前身である旧赤池・金田・方城町時代に経験した赤字団体へと再び転落することがないよう、町財政の健全化に取り組んでいきます。

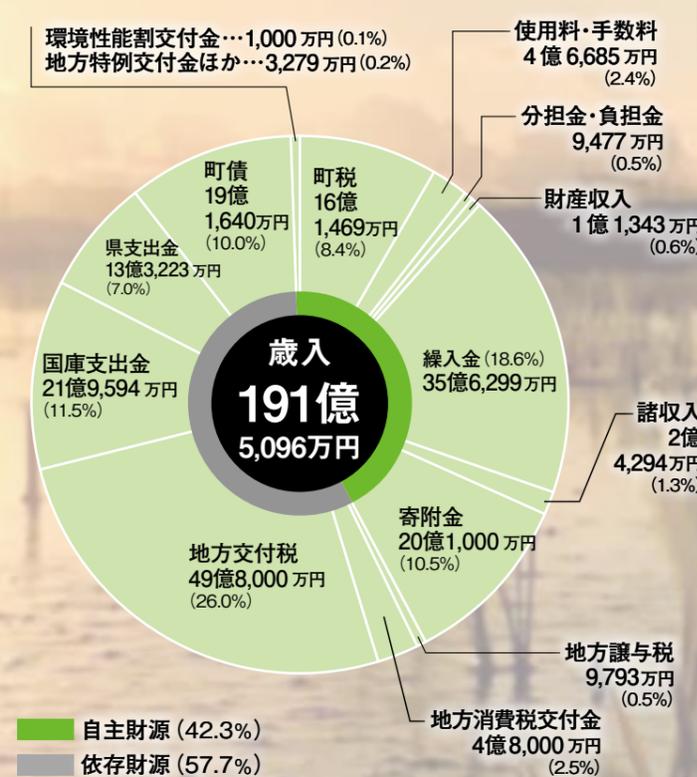
一般会計歳出【目的別グラフ】

議会費	1億2,546万円(0.7%)
総務費	28億7,816万円(15.0%)
民生費	52億5,594万円(27.4%)
衛生費	17億1,354万円(8.9%)
農林水産費	10億478万円(5.2%)
商工費	1億9,981万円(1.0%)
土木費	16億4,735万円(8.6%)
消防費	5億76万円(2.6%)
公債費	22億4,652万円(11.7%)
教育費	13億3,816万円(7.0%)
労働費・災害復旧費・諸支出金・予備費	22億4,049万円(11.7%)

一般会計歳出【性質別グラフ】



一般会計歳入



特別会計予算

特別会計	予算等金額
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,087万円
国民健康保険事業特別会計	27億4,222万円
後期高齢者医療特別会計	3億3,772万円
国民健康保険福智町立診療所事業特別会計	3億5,723万円
田川郡町村公平委員会特別会計	265万円

用語説明

【一般会計と特別会計】
地方公共団体の会計のうち「一般会計」は基本的な経費を管理する会計で、「特別会計」は特定の事業を行うために、特定の歳入・歳出を一般会計と区分して経理するための会計です。

【歳入】
町税：みなさんに納めていただく「町民税」「固定資産税」「たばこ税」「軽自動車税」などの税金です。
地方交付税：市町村の財政力に応じて国から交付されるお金で「普通交付税」と「特別交付税」があります。「地方交付税」は、団体の財政力の不均衡をなくし、どの住民にも一定の行政サービスが行えるよう、国税(所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税)として集められた財源のうち一定割合の額を、地方公共団体に再配分するものです。
町債：町の借入金(借金)で償還が2年以上にわたるものです。公共施設建設のように一時的に多額の経費を必要とし、かつ長期間にわたって利用できるものの財源にあてられます。
国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対して国から交付されるお金で、国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金の3つに分類されます。
県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されます。
繰入金：積立金(基金)の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金です。

目的別歳出

地方公共団体が行う事業を目的別に分類するもので、行政サービスの水準や行政上の特色などを知らることができます。
議会費：議会運営のための経費です。
総務費：行政全般の事務などに関わる経費です。
民生費：障がい者、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費です。
衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などの経費です。

性質別歳出

地方公共団体の経費を性質別に分類するもので、義務的経費、投資的経費、その他の経費に区分できます。義務的経費は支出が義務づけられている経費で、投資的経費は行政水準の向上にかかる経費です。
人件費：議員報酬、職員給与などです。
物件費：旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費です。
維持補修費：道路や公共施設などを管理するために必要な経費です。
扶助費：社会保障制度の一環として、高齢者、児童、心身障がい者などに対して行う支援のための経費です。
補助費等：町から他の団体などに対して行政上の目的から支払う経費です。報償費(講師謝金等)、役務費(保険料等)、負担金・補助金及び交付金(助成金等)などが該当します。
普通建設事業費：道路や公共施設の新増設に必要とされる経費です。
災害復旧事業費：災害で被災した施設などを復旧するための経費です。
公債費：町の借入金を償還するための経費です。
積立金：財政運営を計画的にするため財源変動に備えて積立てる経費です。
繰出金：一般会計、特別会計、基金との間で、相互に資金運用をするための経費です。